

第 17 期事業報告書

平成 28 年（2016 年）10 月 1 日～平成 29 年（2017 年）9 月 30 日

特定非営利活動法人 グループ凜

1. 活動の成果

（1）厳しさ増す介護保険事業

4 期連続の利用者減。今期中の新規利用者は、期末の 9 月に一人（認定申請中）あっただけで、同じ 9 月に一人亡くなられたため、期首と期末の実利用者は 11 人と変わらなかった。

利用者減の理由は、①通所介護をはじめ介護保険事業者が乱立している②医療単価の引き下げで経営が厳しくなってきた医療法人が、中長期的な経営視点から積極的に介護事業に参入している③核家族化などで家族の介護力が低下してきた一などが挙げられる。

過去 10 年の介護保険の延べ利用者は下記の通り。介護報酬単価は 30 年 4 月からさらに引き下げられるのが確実なため、NPO 法人として、今後の運営の在り方の見直しが迫られている。

	8 期	9 期	10 期	11 期	12 期	13 期	14 期	15 期	16 期	17 期
期末実利用者	23	22	22	24	22	18	18	13	12	11
延べ利用者 (人)	2281	2122	2370	2604	2309	2485	2230	1896	1639	1383
1 日平均	7・4	6・9	7・7	8・4	7・4	8・1 (人)	7・3	6・1	5・3	4・5

※8 期は平成 19・10～20・9. 17 期は平成 28・10～29・9

（2）宅老所「蔵王の家」（介護保険指定地域密着型通所介護事業所、介護予防通所介護事業所）の事業

① 期末の利用登録者は 11 人。介護保険認定者の年間利用者は延べ 1383 人。前期（1639 人）と比べ 256 人減になった。1 日平均は 4・5 人。前期比減は 4 期連続。

② 9 月 27 日に要介護 3 の女性（週 4 回利用）が急死したため、平成 29 年 9 月末の実利用者は 11 人。内訳は、支援 1 = 3 人、支援 2 = 1 人、要介護 1 = 2 人、要介護 2 = 3 人、要介護 3 = 1 人、申請中 = 1 人。

③職員の介護レベルの向上のため、積極的に外部研修に参加した。特に認知症の研修に力を入れ、市民公開講座「認知症の正しい理解と予防」(28・11)、認知症地域ネットワークフォーラム in 福山(29・2)などに参加した。このほか、救急救命講習会(9月、福山・2名)などに参加した。

(3) ふれあい・たすけ愛サービス事業

ふれあい・たすけ愛サービス事業は、6期目。定期を含め利用会員は9人。家事援助が中心だが、見守り、部屋の片付け、庭木の剪定などもした。地域包括支援センターからの依頼が多い。利用回数は210件(延べ269・5時間)。

(4) 地域助け合い活動・絆づくり事業

① さわやか福祉財団の活動…東京で28年12月に開かれた研修会に理事長(角川)が出席した。27年度からの介護保険制度改正に伴い、住民主体の生活支援サービス事業(新しい総合事業)が打ち出され、その普及方法について議論した。

②福山市の地域包括ケア推進会議生活支援サービス部会…27年度から理事長が委員を委嘱され2年目。居場所づくりなど住民主体の地域助け合い活動のあり方を議論した。

③ 地域のボランティア活動…蔵王の家ホーム長の槇田智香子が、福山市や神石高原町の社会福祉協議会の依頼で、地域の高齢者サロンの運営者などを対象にしたレクレーション指導に出かけた。福山市2回、神石高原町3回。

④地域の絆づくり…グループ凜の事業ではないが、理事長が、住んでいる久松台学区で「認知症? それはどうした! 学習会」を28年3月から隔月に開いている。同学区の福祉を高める会会長に就任(27年4月)したのをきっかけに始めた。認知症に対し住民の理解を深めてもらうことと、それを通じて地域のコミュニティ(きずな)を豊かにするのが目的。初回は70代を中心に80人が参加し、関心の高さをうかがわせた。

同じ久松台学区で平成27年春から毎週日曜日、健康マーじゃんを行う喫茶風サロンも開いている。主に団塊の世代が対象。遊びを通じ地域デビューのきっかけにしてもらうのを目的にしている。

(5) ボランティアの来訪

今期もさまざまな人たちにボランティアに来ていただいた。

広島保護観察所が行う保護観察対象者(主に未成年)の社会貢献活動は、3期目。29年1月に13人(保護司会の人を含む)、同7月に12人が来訪され、庭の

清掃活動などをしてもらった。

このほか、山本義富さん（庭の草取りなど 27 日間）、腹話術の岩森さん、オカリナ「なでしこ」（2 回）、榎田シスターズ大正琴（2 回）などに来ていただいた。

2. 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に関する事項

① 通所介護・介護予防通所介護事業

・定休日の日曜日、年末年始（12 月 31 日～1 月 3 日）を除き、週 6 日営業した。

・月別の延べ利用者は、以下の通り。カッコ内は、実利用者。

		28 年 10 月	11 月	12 月	29 年 1 月	2 月	3 月
営業日		26	26	26	24	24	27
介護保険利用者		122 (12)	118 (12)	120 (12)	109 (11)	107 (11)	119 (11)
一般利用者							
計		122 (12)	118 (12)	120 (12)	109 (11)	107 (11)	119 (11)
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	計	前期
25	27	26	26	27	26	310	309
110 (11)	121 (11)	117 (11)	113 (11)	115(10)	112 (10)	1398	1628
					5(1)	5	11
110 (11)	121 (11)	117 (11)	113 (11)	115(10)	117 (11)	1403	1639

※一般利用者は 11 月に要介護 1 の認定を受ける。

（2）ふれあい・たすけ愛サービス事業

週 1 回など定期利用者 4 人、その他 5 人の計 9 人が利用した。利用回数は延べ 210 回、計 269 時間 30 分。月別の利用者（回）は以下の通り。

		28 年 10 月	11 月	12 月	29 年 1 月	2 月	3 月
家事援助		14	13	13	15	16	20
通院、見守りなど							
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	計	前期
24	17	19	18	15	17	201	163
					9	9	0

第17期(平成28年度)

事業活動収支計算書

(自:平成28年10月1日 至:平成29年9月30日)

特定非営利活動法人 グループ凜

(単位:円)

科 目	金 額	
I.経常収益		
1. 受取会費		
会費収入		0
2. 受取寄付金		
寄付金収入		1,302,860
3. 事業収益		
介護保険収入	9,833,699	
利用料収入	2,144,141	
助け合い事業収入	286,000	12,263,840
4. その他収益		
受取利息	7	
雑収入	411,087	411,094
経常収益計		13,977,794
II.経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	7,752,525	
法定福利費	772,963	
人件費計	8,525,488	
(2) その他経費		
給食費	562,444	
介護・衛生費	16,164	
日用品費	31,017	
水道光熱費	411,948	
燃料費	199,442	
助け合い事業費	258,300	
その他経費計	1,479,315	
事業費計		10,004,803
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	1,560,000	
法定福利費	155,539	
人件費計	1,715,539	

様式1 活動計算書

(単位:円)

科 目	金 額		
(2) その他経費			
福利厚生費	188,346		
旅費交通費	355,270		
研修費	34,933		
消耗品費	191,590		
事務用品費	44,455		
印刷製本費	12,324		
交際接待費	12,240		
図書費	43,441		
修繕費	231,122		
通信運搬費	184,728		
会議費	3,261		
広告宣伝費	4,160		
業務委託費	136,593		
支払手数料	3,888		
保険料	386,050		
地代家賃	900,000		
租税公課	7,700		
リース料	226,800		
諸会費	12,700		
寄付金	0		
減価償却費	366,029		
雑費	353,366		
その他経費計	3,698,996		
管理費計		5,414,535	
経常収益計			15,419,338
当期経常増減額			-1,441,544
III. 経常外収益			
IV. 経常外費用			
1. 借入金利息		28,902	
経常外費用計			28,902
税引前当期正味財産増減額			-1,470,446
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			-1,541,446
前期繰越正味財産額			-2,840,348
次期繰越正味財産額			-4,381,794
[1] 収入合計			13,977,794
[2] 支出合計			15,519,240
[3] 当期収支差額			-1,541,446
[4] 前期繰越活動収支差額			-6,251,197
[5] 次期繰越収支差額			-7,792,643

第17期(平成28年度)
貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

特定非営利活動法人 グループ凜

(単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,563,906		
未収金	1,634,152		
前払費用	64,800		
流動資産合計		3,262,858	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物	2,029,041		
建物付属設備	457,738		
車輛運搬具	2		
器具備品	5		
有形固定資産計	2,486,786		
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
敷金	180,000		
預託金	9,830		
投資その他の資産計	189,830		
固定資産合計		2,676,616	
資産合計			5,939,474
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,029,532		
預り金	28,738		
流動負債合計		1,058,270	
2. 固定負債			
長期借入金	9,262,998		
固定負債合計		9,262,998	
負債合計			10,321,268
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-2,840,348	
当期正味財産増減額		-1,541,446	
正味財産合計			-4,381,794
負債及び正味財産合計			5,939,474

財務諸表の注記

自 平成28年10月1日

至 平成29年9月30日

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	6,961,500			6,961,500	4,932,459	2,029,041
建物付属設備	787,500			787,500	329,762	457,738
車両運搬具	2,435,070			2,435,070	2,435,068	2
器具備品	887,786			887,786	887,781	5
投資その他の資産						
敷金	180,000			180,000		180,000
預託金	9,830			9,830		9,830
合計	11,261,686	0	0	11,261,686	8,585,070	2,676,616

3. 借入金を増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	8,399,899	863,099		9,262,998
合計	8,399,899	863,099	0	9,262,998

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(貸借対照表)		
長期借入金	9,262,998	8,872,998
貸借対照表計	9,262,998	8,872,998

第17期(平成28年度)
財 産 目 録
 (平成29年9月30日現在)

特定非営利活動法人 グループ凜
 (単位:円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	141,443	
普通預金		
もみじ銀行・蔵王支店	1,132,697	
福山市JA・蔵王支店	289,737	
広島銀行・蔵王支店	29	
現金預金合計	1,563,906	
未収金		
介護保険収入 平成29年8月分	807,050	
介護保険収入 平成29年9月分	827,102	
未収金合計	1,634,152	
前払費用		
家賃[羽原智大] 平成29年10月分	64,800	
前払費用合計	64,800	
流動資産合計		3,262,858
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物 蔵王の家(木造)	2,029,041	
建物付属設備 蔵王の家排水設備	457,738	
車輛運搬具		
ダイハツ アトレーワゴン1台	1	
スズキ アルト 1台	1	
車輛運搬具計	2	
器具備品		
パソコン 1台	1	
家具 一式	1	
冷蔵庫 2台	1	
洗濯機 1台	1	
エアコン 3台	1	
器具備品計	5	
有形固定資産計	2,486,786	

様式5 財産目録

(単位:円)

科 目	金 額		
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
敷金			
羽原智大(福山市南蔵王町5-22-27)			
〔蔵王の家 賃借建物に係る敷金〕	180,000		
預託金			
自動車リサイクル料(アルト)	9,830		
投資その他の資産計	189,830		
固定資産合計		2,676,616	
資産合計			5,939,474
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
平成29年9月分 給料	792,294		
平成29年9月分 社会保険料	158,532		
西日本電信電話(株)(平成29年9月分)	7,706		
平成29年9月期 法人税等	71,000		
未払金計	1,029,532		
預り金			
源泉所得税預り金	28,738		
流動負債合計		1,058,270	
2. 固定負債			
長期借入金			
角川克己	8,872,998		
槇田智香子	390,000		
長期借入金計	9,262,998		
固定負債合計		9,262,998	
負債合計			10,321,268
正味財産			-4,381,794

第17期

収益事業（その他の事業）会計収支計算書

（自：平成28年10月1日 至平成29年9月30日）

特定非営利活動法人 グループ凜

（単位・円）

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 事業収入			
福祉関連用品の販売	0	0	
当期収入合計			0
II 支出の部			
1 事業費			
福祉関連用品販売事業費		0	
2 管理費			
福祉関連用品販売管理費		0	
当期支出合計			0
当期収支差額			0

第11期（平成28年度）その他の事業会計 貸借対照表

平成 年 9月 30日現在

特定非営利活動法人 グループ凜

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	0		
流動資産合計		0	
2.固定資産			
土地	0		
建物	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1.流動負債			
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2.固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

第17期 (平成28年度) その他の事業会計 財産目録

平成 年 9月 30日現在

特定非営利活動法人 グループ凜

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	0		
流動資産合計		0	
2.固定資産			
土地	0		
建物	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1.流動負債			
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2.固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0